

○2年生の外国語活動体験

3年生から、外国語活動が始まります。2年生に外国語活動に早く慣れてもらうため、1～10までの数字をターゲットに、外国語活動体験をしました。2年生と行った活動内容をいくつか紹介します。

活動例(時間配分や児童の様子によって変えます。)

- ①Number song
- ②ALT と数字の言い方の練習
- ③キーワードゲーム
- ④当たりはどれだ?ゲーム
- ⑤カードを使ってペアで練習
- ⑥カルタ
- ⑦宝くじゲーム
- ⑧What's the number? game
- ⑨Good bye song

③キーワードゲームは、代表児童が数字を指定し、ALT と数字の言い方を練習する中で、その数字だけ言わないようにするゲームです。ALT につられて素直にリピートしてしまうので、なかなか難しいゲームですが、児童はよく聞いて、ひっかからないように気を付けていました。



④当たりはどれだゲームでは、代表児童がピクチャーカードの裏に○を描き、他の児童が当たりを探すゲームです。「What's the number?」「Five!」などの表現を繰り返して、楽しく慣れることができます。



⑤ペアでカードを使って、ランダムに出された数字が英語で言えるか挑戦します。1 から 10 まで順に言うことはできるけれど、ばらばらで出されるとすぐに言えない・・・などの自分の課題に気付くことができます。

⑥カルタゲームです。2つの約束をして始めます。1つめ、強くたたかないこと、2つめ、勝ち負けにこだわらず、気軽に楽しむことです。

ALT の、「Hands on your head.」「Hanks on your shoulder.」などのコマンドを聞いて、手を頭や肩においてスタンバイします。児童は「What's the number?」と ALT に尋ね、ALT が言った数字のカードをとっていきます。

ゲームが終わったら、「How many cards do you have?」と児童に尋ね、取れたカードの数を聞きます。

⑦What's the number? game は、一人2枚のカードを用意して、1～9までの数字から足して10になる組み合わせを作ります。そのカードを持って、友達と「What's your number?」「1 and 9」などと会話した後、カードを1枚交換します。たくさんの友達と繰り返した後、席に戻り、手元のカードは足していくつになったのかを尋ねます。最初、合計が10だったカードは、どうなったかな? 増えたり減ったりして、おもしろいです。最大値は9 and 9 で18になるので、10を超えた数字とも出会うことができます。

授業後、廊下などで2年生に会うと、「Hello!」や「Good morning!」など英語を使って挨拶をしてくれることが増えました。「英語の授業、楽しかったです。」と言ってくれる児童もいてうれしい限りでした。3年生からも外国語活動を楽しんでもらいたいです。